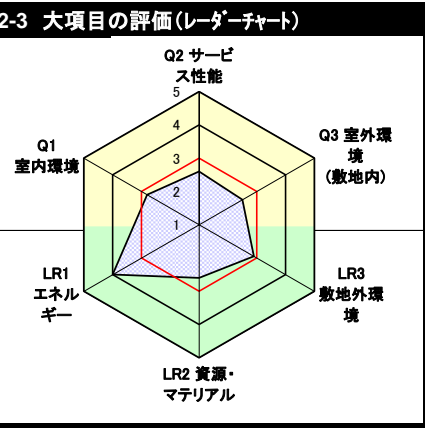
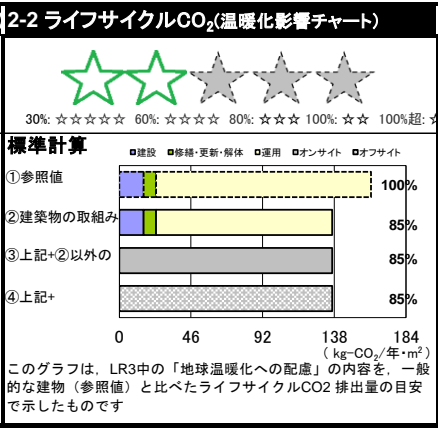
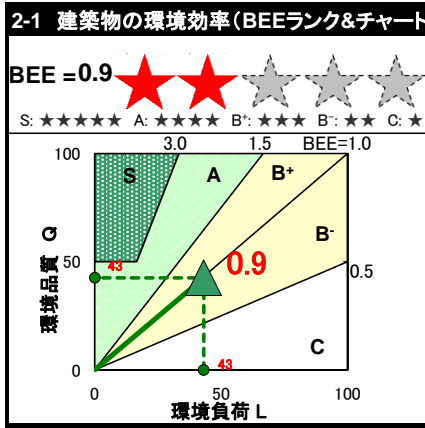


CASBEE® 京都-新築

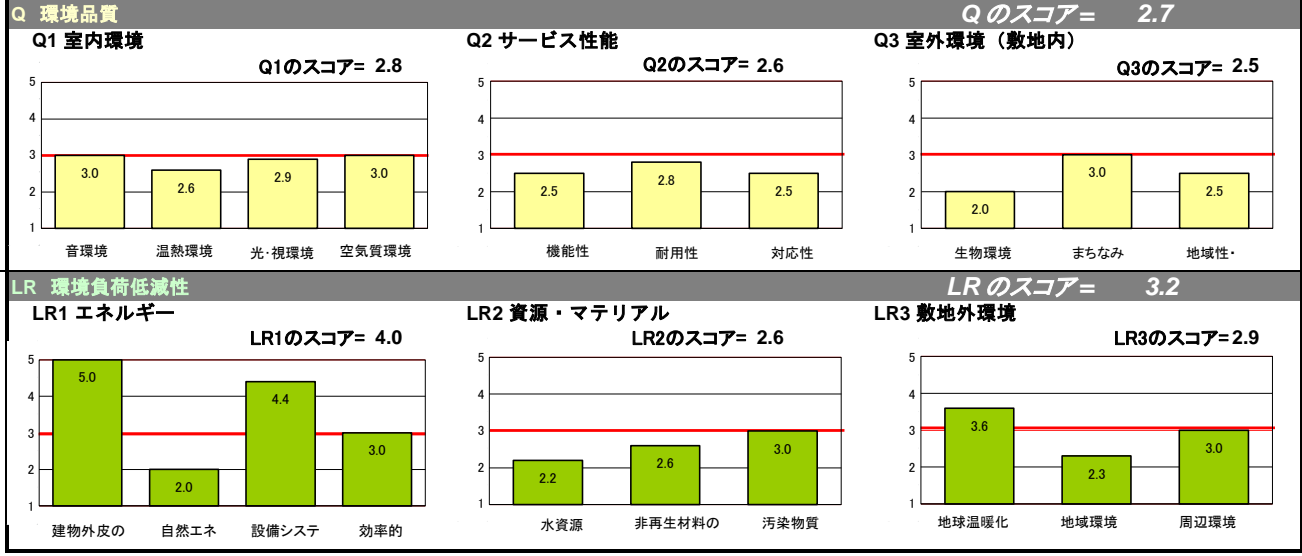
標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)北区・シャーマンエムケイ(株) 新築工事	階数	地上2F
建設地	京都府京都市北区上賀茂大柳町30番他	構造	S造
用途地域	第1種低層住居専用地域、法22条区域	平均居住人員	91人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2017年8月16日
敷地面積	2,421 m ²	作成者	谷澤 裕吉
建築面積	1,175 m ²	確認日	
延床面積	2,274 m ²	確認者	



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> ●大型の共同住宅であるため、中廊下を設けることで通風の確保に考慮した ●各階にラウンジを設けることにより、入居者間の交流を図れる設計とした 	<ul style="list-style-type: none"> ●特に無し
Q1 室内環境 <ul style="list-style-type: none"> ●省エネ基準を満たす断熱仕様、高断熱ペアガラスの採用による冷暖房負荷の軽減 	Q2 サービス性能 <ul style="list-style-type: none"> ●地盤調査に基づく安全な基礎方式と形状の検討 ●壁体内通気法及び断熱区画、防水シート設置による躯体の耐久化
Q3 室外環境(敷地内) <ul style="list-style-type: none"> ●周辺民家との調和を図り、軒の出や屋根勾配を揃えている ●共用玄関にオートロックを採用し、防犯を高めている 	LR3 敷地外環境 <ul style="list-style-type: none"> ●園芸品種・外来種のみを多用せず、生態系に配慮した、地域の生物にとって活用性の高い「在来種」を積極的に選定
LR1 エネルギー <ul style="list-style-type: none"> ●10kWの太陽光発電装置を設置 ●ヒートポンプ給湯器(エコキュート)の採用による省エネルギー対策 ●照明は基本的に、長寿命な製品であるLEDを採用 	LR2 資源・マテリアル <ul style="list-style-type: none"> ●施工現場で生じた産廃は、生産工場へ回収・分別され、90%以上マテリアルサイクルをしている

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される